

田辺三菱製薬株式会社



田辺三菱製薬

2018年度第2四半期 決算説明会

(2018年4月1日～2018年9月30日)

2018年10月30日
取締役 常務執行役員
田原 永三

2018年度第2四半期 決算概要

2018年度第2四半期 決算概要

売上収益は、ラジカヴァの寄与があったものの、国内の薬価改定の影響などにより、減収
販管費は減少したが、研究開発費の増加もあり、コア営業利益は減益

	2018年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	増減		上期予想※	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	2,097	2,133	△ 36	△ 1.7	2,100	99.9
（国内売上収益）	1,464	1,607	△ 142	△ 8.9	1,457	100.5
（海外売上収益）	632	526	+ 106	+ 20.1	642	98.3
海外売上比率	30.1%	24.7%			30.6%	
売上原価	861	845	+ 16	+ 1.9	840	102.5
売上原価率	41.1%	39.6%			40.0%	
売上総利益	1,235	1,288	△ 52	△ 4.1	1,260	98.1
コア営業利益	345	397	△ 52	△ 13.1	300	115.0
営業利益	345	368	△ 23	△ 6.4	285	121.1
四半期利益（親会社帰属）	249	298	△ 48	△ 16.2	195	128.2

期中平均レート（米ドル）

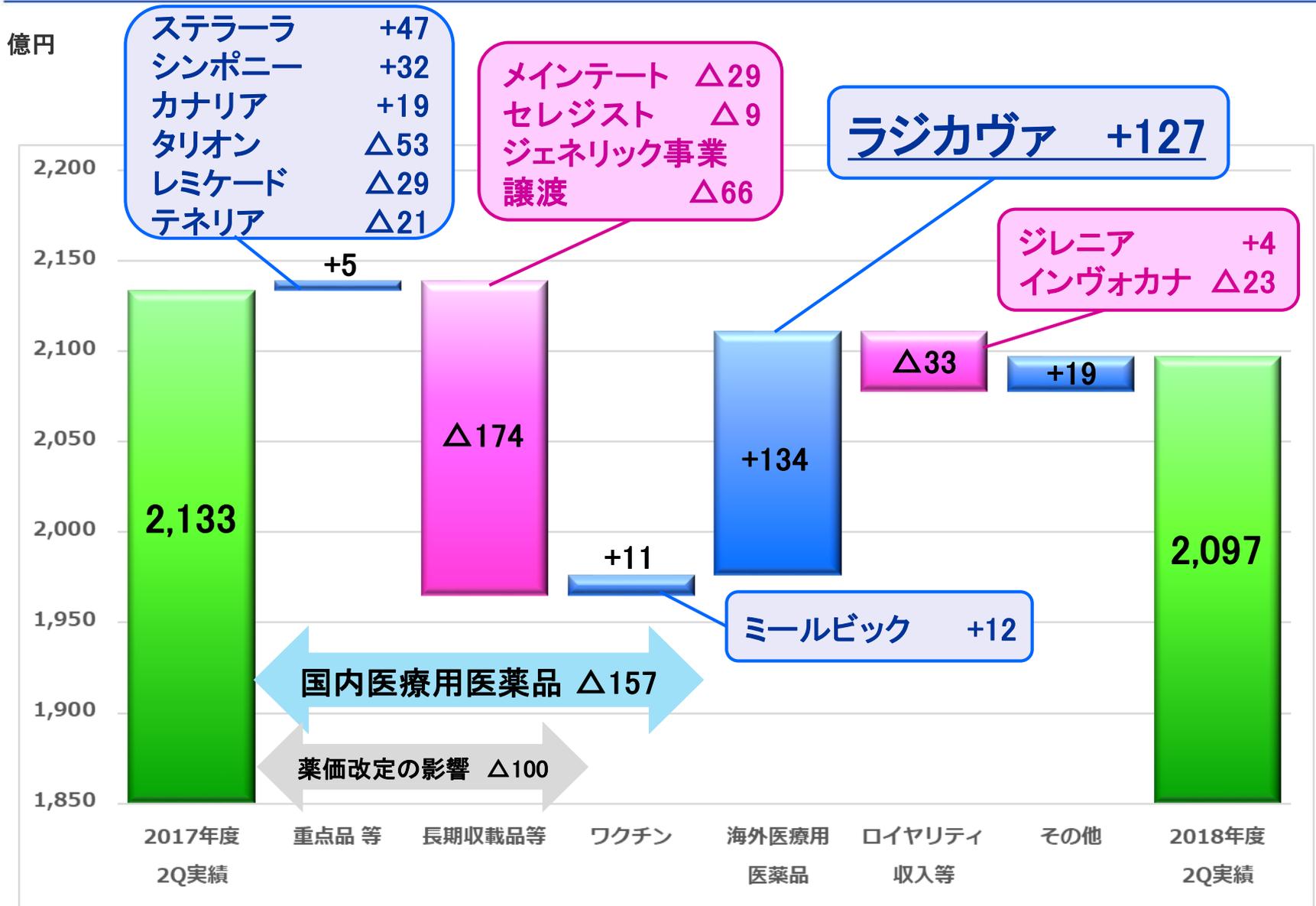
110.71円

111.29円

105.00円

※上期予想：2017年度決算発表時（2018年5月9日）公表

売上収益の増減



売上原価・販管費・コア営業利益

薬価改定の影響、品目構成の変化等により、売上原価率は上昇

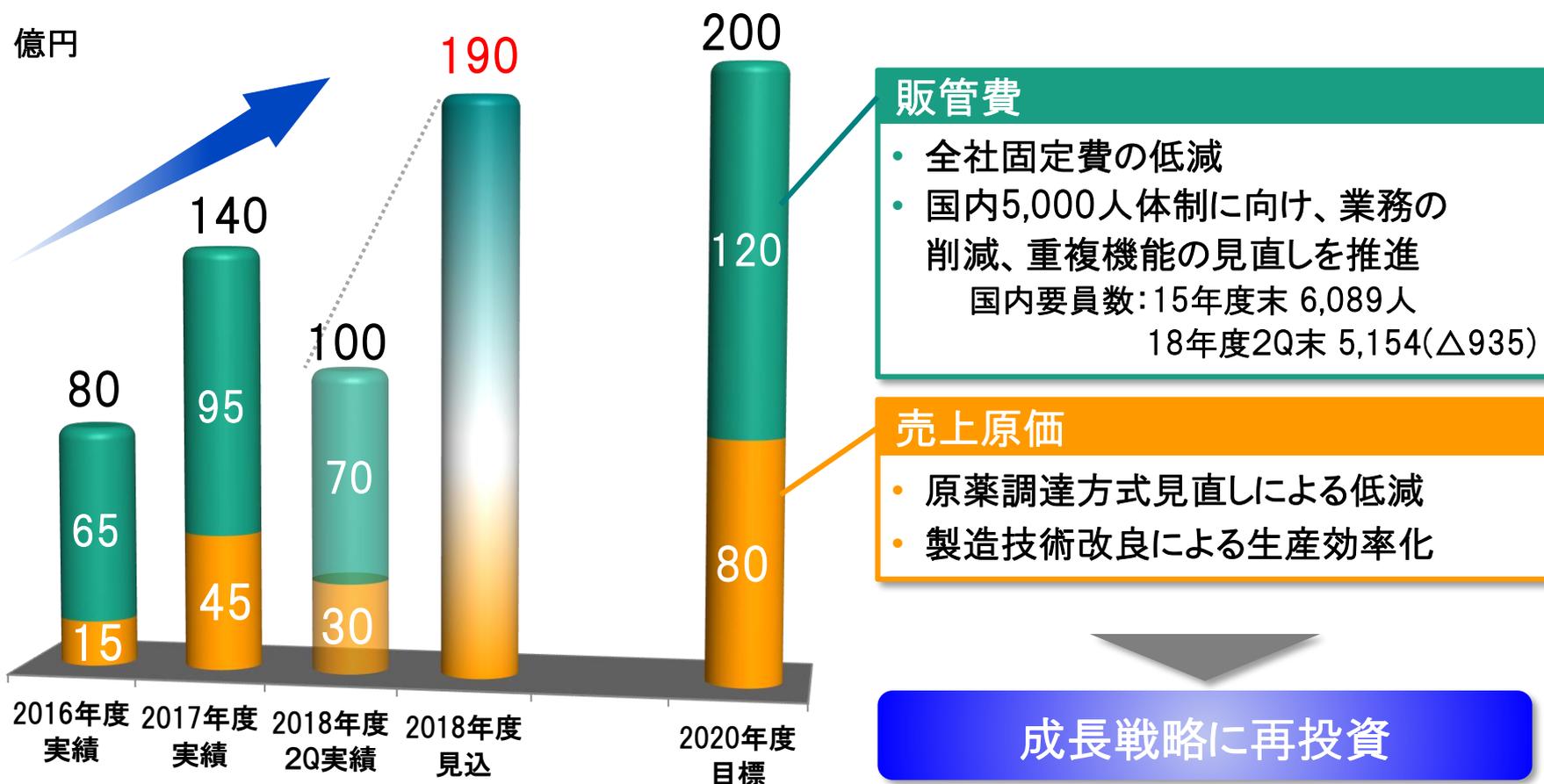
販管費は減少したが、後期開発ステージの進展等による研究開発費の増加もあり、コア営業利益は減益

	2018年度	2017年度	増減		上期予想※	達成率
	第2四半期	第2四半期	億円	%	億円	%
売上収益	2,097	2,133	△ 36	△ 1.7	2,100	99.9
売上原価	861	845	+ 16	+ 1.9	840	102.5
売上原価率	41.1%	39.6%			40.0%	
売上総利益	1,235	1,288	△ 52	△ 4.1	1,260	98.1
販管費	477	514	△ 37	△ 7.2	500	95.5
研究開発費	395	363	+ 31	+ 8.7	445	88.9
製品に係る無形資産償却費	14	10	+ 4	+ 39.2	15	97.8
その他損益*	△ 3	△ 2	△ 0	-	-	-
コア営業利益	345	397	△ 52	△ 13.1	300	115.0

*費用・損失の場合に△と表示

※上期予想:2017年度決算発表時(2018年5月9日)公表

引き続き、業務生産性改革に取り組み、2018年度2Qでは、半期100億円の削減
 2018年度は、事業構造改革の期間差に加え、原価低減、販管費削減を更に進めて年間190億円を見込む



* ベンチマークは2015年度

	2018年度	2017年度	増減		上期予想※	達成率
	第2四半期	第2四半期				
	億円	億円	億円	%	億円	%
コア営業利益	345	397	△ 52	△ 13.1	300	115.0
非経常項目*	-	△ 28	+ 28	-	△ 15	-
営業利益	345	368	△ 23	△ 6.4	285	121.1
金融収益	5	12	△ 6	△ 52.3		
金融費用	2	5	△ 2	△ 47.0		
四半期利益（親会社帰属）	249	298	△ 48	△ 16.2	195	128.2

*費用・損失の場合に△と表示

※上期予想:2017年度決算発表時(2018年5月9日)公表

通期業績予想

2017年度 決算発表時(2018年5月9日公表)から変更なし

	2018年度	2017年度	増減	
	予想	実績	億円	%
売上収益	4,350	4,338	+ 11	+ 0.3
(国内売上収益)	3,047	3,208	△ 161	△ 5.0
(海外売上収益)	1,302	1,129	+ 172	+ 15.3
海外売上比率	29.9%	26.0%		
売上原価	1,760	1,697	+ 62	+ 3.7
売上原価率	40.5%	39.1%		
売上総利益	2,590	2,641	△ 51	△ 1.9
コア営業利益	700	785	△ 85	△ 10.9
営業利益	670	772	△ 102	△ 13.3
当期利益 (親会社帰属)	470	579	△ 109	△ 18.9

期中平均レート (米ドル)

105.00円

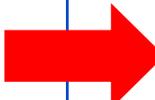
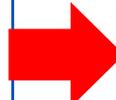
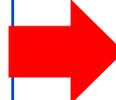
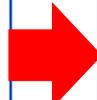
110.70円

開発パイプラインの進捗

主な開発パイプラインの進捗状況

2018年度第1四半期決算発表以降の進捗状況

2018年10月25日現在

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請	承認
MCI-186 ラジカヴァ(エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症)	カナダ					
MP-513 テネリア(テネリグリプチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	シンガポール タイ					
MP-214 (カリプラジン)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト(統合失調症)	タイ					
MT-2271 *	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防/ 高齢者)	米国、欧州、 カナダ、他					

* メディカゴ(カナダ)品

導出品の進捗状況

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症)	地域	P1	P2	P3	申請	承認
TA-7284 * カナグル/インヴォカ ナ(カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (心血管疾患の既往がある、または心血管疾 患リスクがある2型糖尿病における脳・心血管 死、非致死性心筋梗塞及び非致死性脳卒中 の複合リスクの低減(CANVAS/CANVAS-R))	欧州					

* ヤンセンファーマシューティカルズ(米)に導出

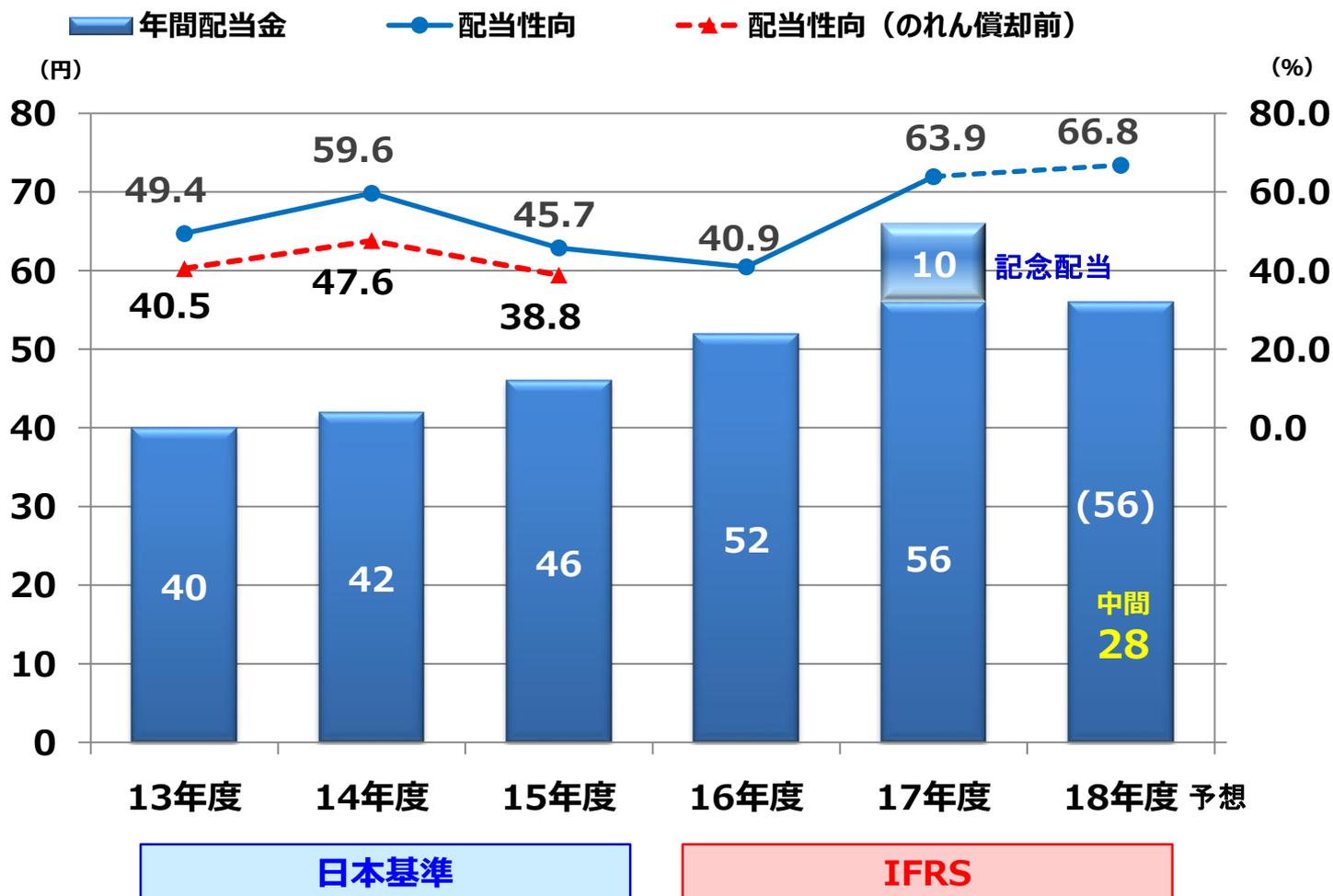
株主還元



配当金推移

2018年度中間配当金は、従来予想通り28円

2018年度配当金については、期末配当28円と合わせ56円を予定



事業説明会

事業説明会開催

中期経営計画の進捗および今後の戦略について
ご説明いたします

2018年11月19日(月) ニュースリリースおよび資料ファイリングを予定

2018年11月20日(火) 機関投資家向け事業説明会開催

Open Up the Future

医療の未来を切り拓く

独自の価値を一番乗りでお届けする、
スピード感のある企業へ



田辺三菱製薬

補足資料



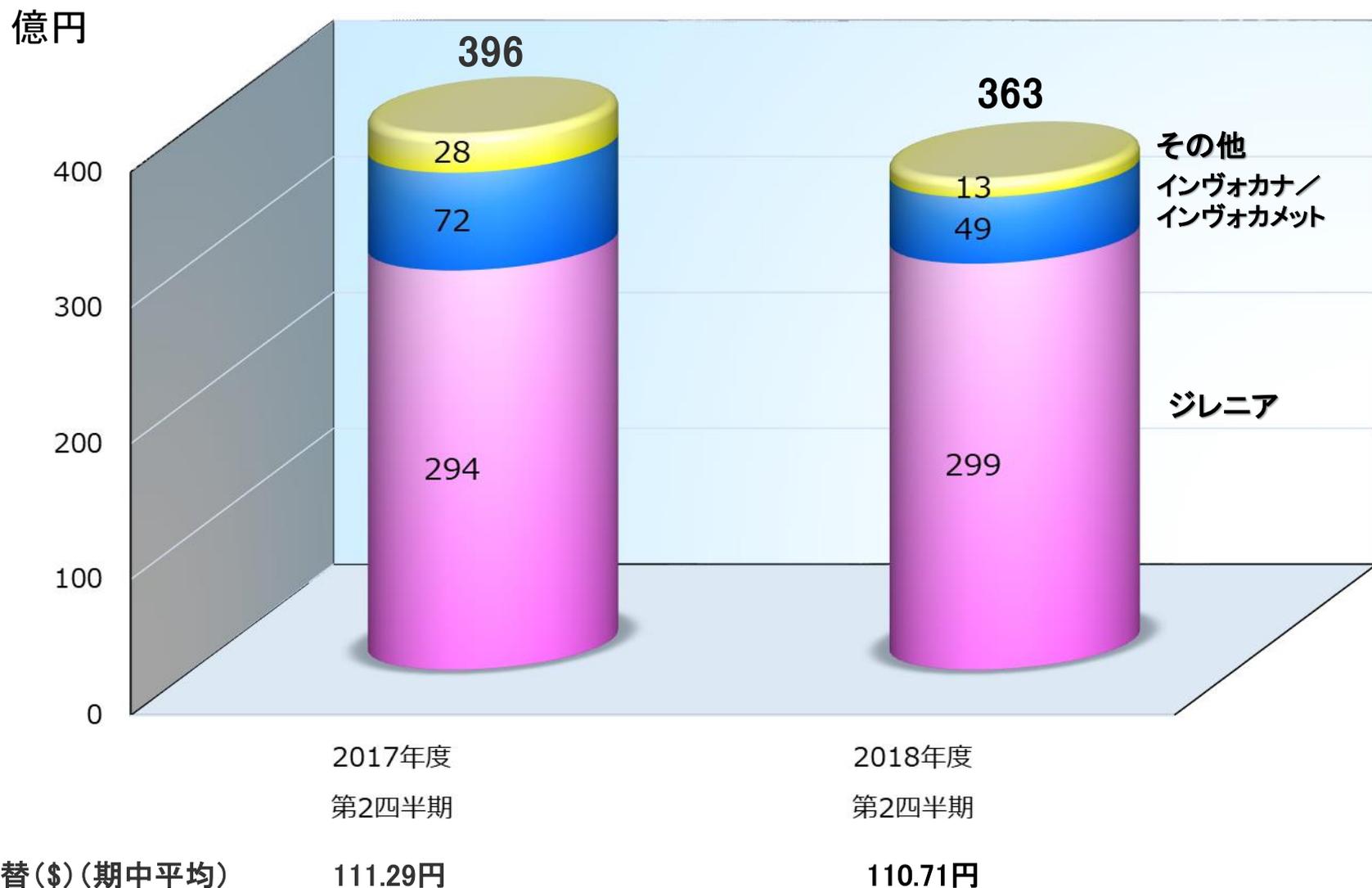
	2018年度	2017年度	増減		上期予想※	達成率
	第2四半期	第2四半期	億円	%	億円	%
売上収益	2,097	2,133	△ 36	△ 1.7	2,100	99.9
(内、海外売上収益)	632	526	+ 106	+ 20.1	642	98.3
国内医療用医薬品	1,415	1,572	△ 157	△ 10.0	1,412	100.2
海外医療用医薬品	274	139	+ 134	+ 96.2	292	94.0
ロイヤリティ収入等	363	396	△ 33	△ 8.4	354	102.4
一般用医薬品	22	21	+ 0	+ 1.5	23	92.2
その他	21	2	+ 19	+ 749.8	16	131.3

※上期予想:2017年度決算発表時(2018年5月9日)公表

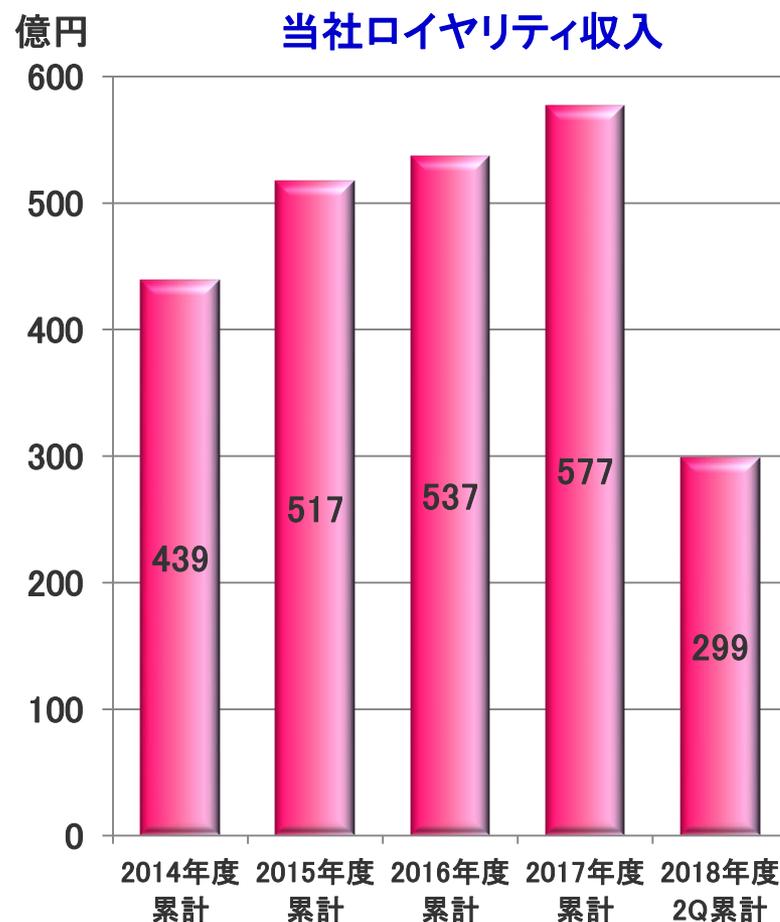
国内医療用医薬品 重点品売上収益

	2018年度 第2四半期	2017年度 第2四半期	増減		上期予想※	達成率
	億円	億円	億円	%	億円	%
レミケード	299	329	△ 29	△ 9.0	284	105.1
シンポニー	185	153	+ 32	+ 20.9	172	107.3
テネリア	72	93	△ 21	△ 22.9	84	85.8
ステラーラ	47	0	+ 47	-	49	96.1
レクサプロ	68	62	+ 6	+ 9.6	64	105.8
カナグル	30	26	+ 3	+ 13.6	36	83.1
タリオン	25	79	△ 53	△ 67.5	35	73.3
ルパフィン	3	-	+ 3	-	12	30.8
イムセラ	22	24	△ 2	△ 9.0	25	88.2
カナリア	30	11	+ 19	+ 179.0	21	142.3
重点品合計	786	780	+ 5	+ 0.7	787	99.9
テトラビック	41	44	△ 2	△ 6.0	45	92.6
ミールビック	41	29	+ 12	+ 41.6	29	141.6
水痘ワクチン	26	27	△ 0	△ 3.0	28	92.9
ジェービックV	30	28	+ 2	+ 7.4	23	130.9
インフルエンザワクチン	9	11	△ 1	△ 10.7	13	74.8
ワクチン合計	155	144	+ 11	+ 7.7	143	108.5
重点品・ワクチン合計	941	925	+ 16	+ 1.8	930	101.2

※上期予想:2017年度決算発表時(2018年5月9日)公表

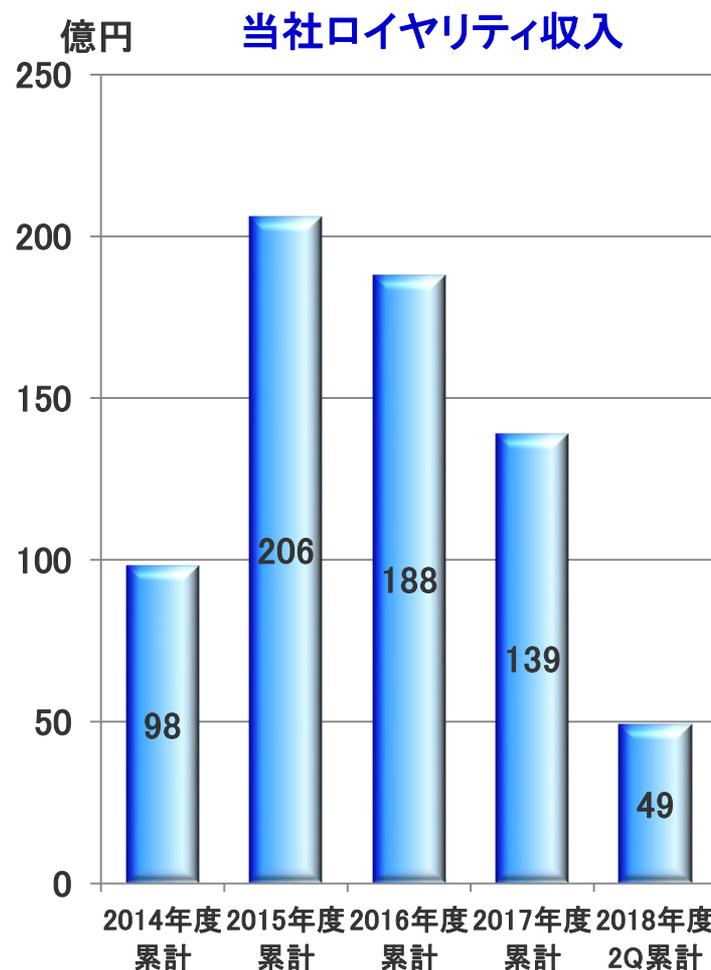
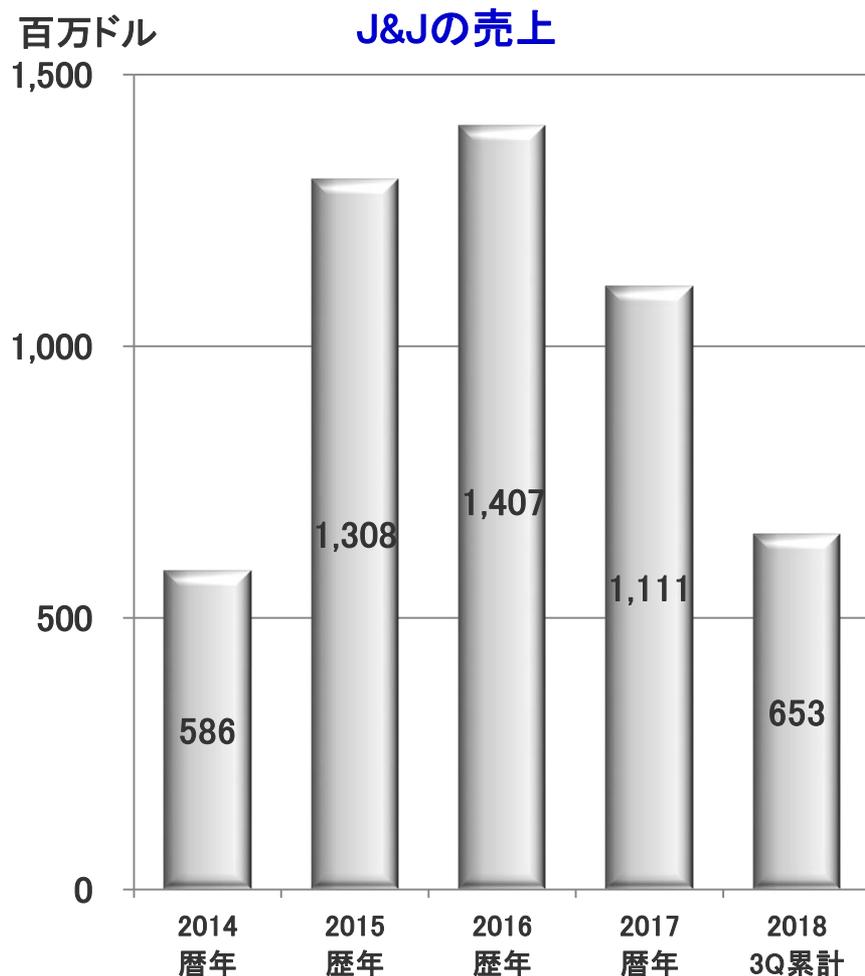


- ◆ ノバルティスの2018年3Q(2018年7-9月)売上高は818百万ドル(前年同期 801百万ドル)
- ◆ 当社2018年度2Q(2018年4-9月)のロイヤリティ収入は299億円

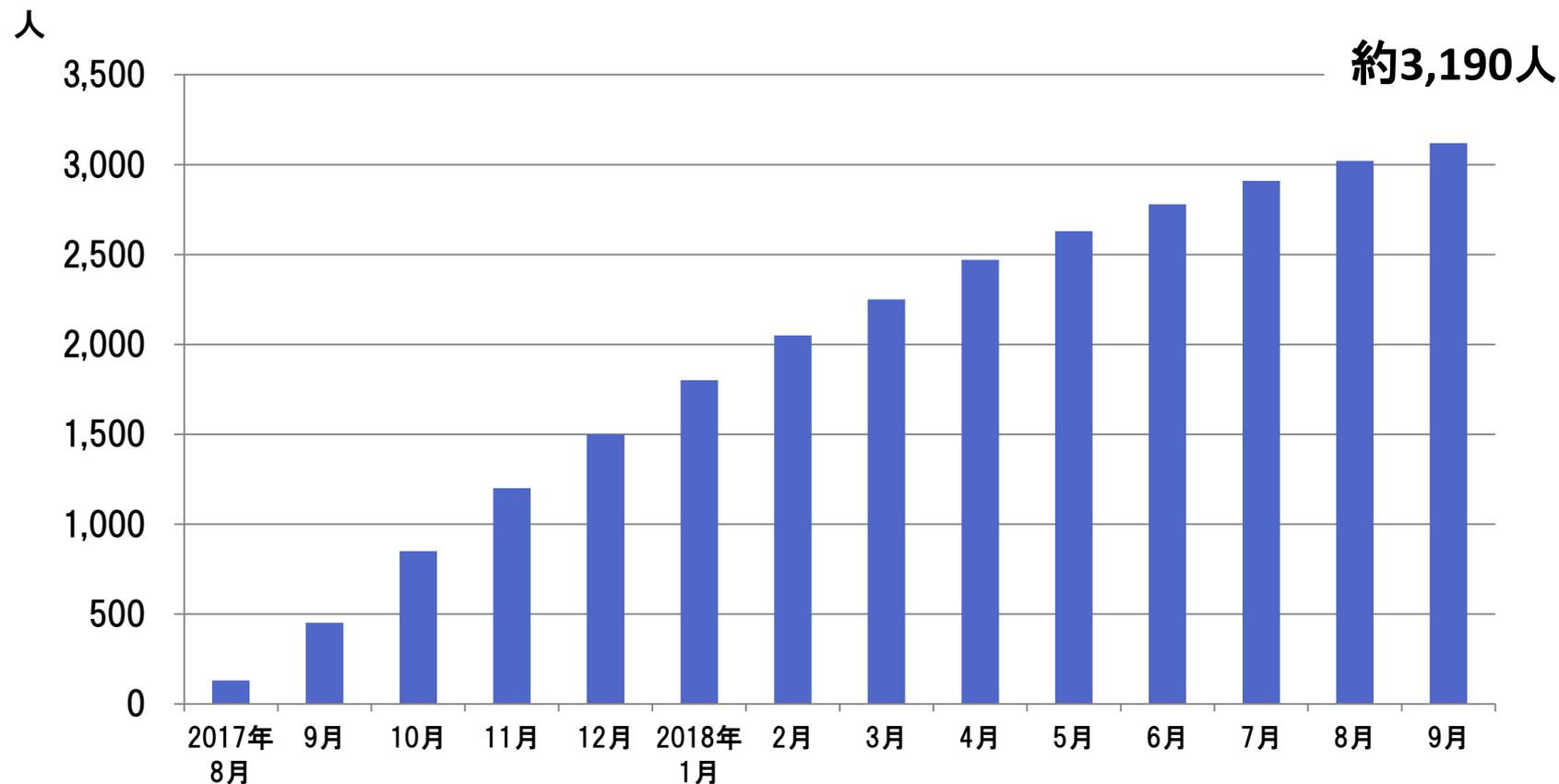


インヴォカナ・インヴォカメット

- ◆ J&Jの2018年3Q(2018年7-9月)売上高は190百万ドル(前年同期 265百万ドル)
- ◆ 当社2018年度2Q(2018年4-9月)のロイヤリティ収入は49億円



ラジカヴァ 累計投与患者数推移



2018年4月～9月
2018年9月末時点

売上高 139億円
累計投与患者数 約3,190人
継続投与患者数 約2,000人

パイプラインの現状

治療対象疾患

- : 自己免疫疾患 ■ : 糖尿病・腎疾患
- : 中枢神経系疾患 ■ : ワクチン ■ : その他

2018年10月25日現在

赤字: 2018年度第1四半期決算発表以降の進捗

フェーズ1

フェーズ2

フェーズ3

申請

承認

- MT-2990 炎症・自己免疫疾患等
- MP-124 神経系用剤
- ND0701 パーキンソン病
- MT-1186 筋萎縮性側索硬化症 (新投与経路)
- MT-7529*1 インフルエンザ[H7N9]の予防
- MT-5625*1 ロタウイルス胃腸炎の予防
- GB-1057 血液及び体液用剤
- MT-0814 眼科用剤
- MT-4129 循環器官用剤等
- MT-2765*2 循環器官用剤等

- MT-1303 多発性硬化症、乾癬(欧州)
クローン病(日本、欧州)
- MT-7117 赤芽球形プロトポルフィリン症 (米国)
- MP-513 2型糖尿病(欧州)
- MT-3995 糖尿病性腎症(日本、欧州)
- MT-8554 糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛 (欧州)
- ND0612 パーキンソン病(米国、欧州)
- MT-8972*1 インフルエンザ[H5N1]の予防 (カナダ)

- MT-5547 変形性関節症(日本)
- TA-7284 糖尿病性腎症 (国際共同治験)*3
- MP-513 2型糖尿病(中国)
- MT-6548 腎性貧血(日本)
- MT-5199 遅発性ジスキネジア(日本)
- MT-2355 5種混合ワクチン(4混+Hib) (日本)*4
- MT-2271*1 季節性インフルエンザの予防/成人・高齢者 (米国、欧州、カナダ他)

主な導出品 (フェーズ3以降)

- TA-7284 糖尿病性腎症(国際共同治験)*3
- MT-210 統合失調症(米国、欧州)
- MT-4580 副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症(日本)

- アザニン 自己免疫性肝炎(日本)
- TA-7284 2型糖尿病(インドネシア)
- MP-513 2型糖尿病(インドネシア、シンガポール、タイ)
- MCI-186 筋萎縮性側索硬化症 (スイス、欧州)
- MP-214 統合失調症(韓国、台湾、シンガポール、タイ)

- MCI-186 筋萎縮性側索硬化症 (カナダ)
- バリキサ 小児・臓器移植におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制 (日本)

承認

- TA-7284 心血管疾患の既往がある、または心血管疾患リスクがある2型糖尿病における脳・心血管死、非致死性心筋梗塞及び非致死性脳卒中の複合リスクの低減 (CANVAS/CANVAS-R) (欧州)

申請

- FTY720 小児・多発性硬化症(欧州)
- TA-7284 心血管疾患の既往がある、または心血管疾患リスクがある2型糖尿病における脳・心血管死、非致死性心筋梗塞及び非致死性脳卒中の複合リスクの低減 (CANVAS/CANVAS-R) (米国)

*1 : メディカゴ(カナダ)品
 *2 : 上海医薬集団(中)と共同研究
 *3 : 治験依頼者: ヤンセン リサーチ アンド デベロップメント
 *4 : 阪大微生物病研究会(日)と共同開発

フェーズ3

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。